

平成 30 年度市政懇談会（そうめん製造業分野）会議録

- 期 日：11月12日（月）
- 場 所：ありえコレジヨホール
- 参加者：17人

今年 10 月に商工観光課内に新設したそうめん振興班から、そうめん産業振興の取り組みについて次のとおり説明しました。

「現在の市場（需要）の縮小、後継者・担い手不足、販売価格の低迷への対策として、生産者の皆さんに低価格販売への歯止めや品質・安全性の確保の取り組みをお願いしたい。

市は、①品質向上（認証制度）、②知名度向上、③生産体制強化（HACCP の導入支援）、④産地づくり（看板等の設置など）、⑤担い手対策（後継者の確保、育成）、⑥海外販路拡大（海外輸出支援）の柱を掲げ、認証制度の確立による島原手延そうめんの販売単価の底上げや消費拡大に向けて、生産者の皆さんと連携して取り組んでいきたい」

※HACCP（ハサップ）とは、事業者自らが食中毒や異物混入などを防止するために、原材料入荷から製品出荷までの工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法のこと。

以下、主な懇談内容。

生産体制強化(施設整備、HACCP)

【参加者】

・ハサップ導入の気持ちはあるが、余裕がない。機械の購入とかハサップ対策支援とかどのようになっているのでしょうか。

【市】

・それに対応できる施設を作っていただくのが、基本的流れになってきている。そのための支援、工場、生産場所の整備について、どういった支援ができるのか、皆さんの現状や意見を伺い検討したい。

【参加者】

・工場に入る前に前室を作る必要がる。ローラーをかけたりしているが、面倒。エアシャワーの機械があるので、そういうのもまとめて契約できると買いやすい。工事費と機械の購入費と併せて補助してもらえれば助かる。

・生産体制の強化について、たとえ補助をもらっても、生活ができないという方が結構いると思うが、そういうことでハサップが導入できていないのかなと思う。

・県の補助は、売上高が概ね 1 億円以上ある企業が要件になっている。市内に 1 億円以上

ある企業は少ないため、その辺を市と商工会と話してなんとかできないかと思っている。

・ハサップをするにあたって、具体的にどういうことをすればいいのか説明は聞いたことはあるが、実際的に費用がいくらかかるのかが分からない。具体的なところを商工会や、保健所の方に聞こうと考えている。

・ハサップのNPO法人がある。ハサップを取得するために市が委託して、講師の方に各事業所を巡回してもらい、それぞれの事業所がどのレベルかを把握すれば、必要になる金額が分かるのではないか。

・ハサップが導入されれば、買い手が生産者から買わない。なので、ハサップは必要になってくる。

・ハサップ問題をクリアできなければ、事業所は200社をきってしまう。そうなれば地場産業として成り立たない。まずは、皆さんと一緒に勉強会をやりたい。

【市】

・皆さんの想いを受け、検討を進めたい。

販売単価

【参加者】

・販売単価を上昇させる取り組みは、どういう考えで設定されたのでしょうか。

【市】

・今現在、手延そうめんの9キロの単価で、島原手延と揖保の糸では1400円の差があります。価格を上げていく対策をするために、認証制度を確立して、市がPRを実施していきたい。

【参加者】

・個々の事業所で引きあげるのは難しい。

【市】

・当然いきなり引き上げるのは難しい。新たな認証制度でもって、規格、体制を立てて、それに対してPRを行い、知名度を上げていきながら徐々に価格を上げていきたい。これまでもやってきたが、思いを共有しながらさらに進めていきたい。

【参加者】 価格があがれば収入も増え、将来性も見えてくる。また、後継者も出てくる。

品質向上(認証制度)

【参加者】

・認証制度の詳細基準は決まっていますか。

【市】

・既存の認証制度をベースとして、新たに作り上げていきたい。

【参加者】

・認証制度は、市の取り組みであるから誰でも参加できる。将来的に、それが基準になる。

他のところでは偽装が出てきているようだ。そうなれば価値が出てきたという証明にもなるが、対策を講じないといけない。

後継者

【参加者】

・今の青年部（40歳代前半から30歳代）には、自分たちで値段をつけて売っていきたいという人間が増えてきている。若い人間が話せる場（意見交換）がない。意識を変えていくには、その年代が集まって話ができる場を多く作っていききたい。

【市】

・大事なことだと思いますのでご協力をお願いしたい。

【参加者】

・若い者がいるが、嫁さんが来てくれない。そうめん業者に嫁さんがくるような対策もお願いしたい。

【市】

・そのためにも、今回の事業をしっかりとやっていこうと考えている。

知名度向上

【参加者】

・ウェブサイトやSNSでの宣伝をどんどんやっていただきたい。それで全国的に発信していただければ、知名度の向上につながるのではないかな。

【市】

・知名度向上についても積極的にやっていきたい。

そうめん産業の振興について

【参加者】

・市にしてくれというのではなく、私たち生産者が品質を上げて、価値を上げて、認証制度を活用することが先決ではないかと思う。今回そうめん振興班ができ、認証制度ができることは大変ありがたい。

【市】

・市としてもなんとかして島原手延そうめんの認知度を高め、全国の皆さんに買っていただけるように取り組んでいきたい。共にがんばっていききたい。